

研究シーズのタイトル

イチジクの経口摂取が生体に与える影響について

研究者名

島田 信

所属

看護学部

研究シーズの専門分野

栄養学, 生理学, 生命科学, 基礎研究, 農業, 看護学

研究シーズのキーワード

果物, 経口摂取, イチジク, バリア機能, 皮膚

研究シーズの概要

イチジクは「不老長寿」の果物と呼ばれてきました。その歴史は古く、古代の医学書であるアーユルヴェーダにも記載されています。日本には江戸時代に伝来し、その豊富な薬理効果より生薬としての役割を果たしてきました。また甘みを豊富に含んだ果物であることから広く親しまれてきました。イチジクには様々な栄養素が含まれており、抗がん作用や便秘解消、高血圧予防、糖尿病予防などに効果があるといわれていますが特にフェノール化合物を豊富に含んでいることで抗酸化作用が報告されています。私の研究ではこの抗酸化作用に着目し、皮膚のバリア機能に与える影響を明らかにしていきたいと考えております。生活を支え、健康の維持増進を支えていく看護の視点において「食」を通して人々の健康増進に貢献できる新たな知見を得られればと考えております。

研究シーズの適用分野

イチジクの経口摂取が生体に与える影響について明らかにしたいと考えております。イチジクによる生体への好影響を明らかにすることで「食」を通じた健康増進に寄与していきたいと考えております。

共同研究が期待される外部機関

農業関連団体， 地方公共団体